

## 第 16 回薬学同窓会学術講演会報告

平成 27 年 12 月 11 日に、第 16 回薬学同窓会学術講演会が開催されました。講師として株式会社 富士フィルム ヘルスケアラボラトリー プロダクトマネージメント部 統括マネージャー 植田文教 先生（第 27 回生）をお招きし、「異業種参入の内側 - 写真からヘルスケアカンパニーへの転換 -」という演題でご講演頂きました。

植田先生は旧薬品製造工学教室（現 生物構造化学分野）のご出身で、学部および博士前期課程を修了後、富士フィルムに入社され、フィルム事業、化粧品事業、ヘルスケア事業と幅広い分野でご活躍されています。

入社当時に主力であったフィルム事業の売り上げが、デジタルカメラの普及と共に低迷する中、植田先生は化粧品事業やヘルスケア事業を立ち上げ、新たな中核事業へと発展させました。今回のご講演では、その経緯を豊富な科学的データに基づきお話し頂きました。企業の中で旧来の事業から全く新しい事業へ転換する際のご苦労を交え、薬学部出身者としての視点をどのように事業に反映したかがよくわかる大変興味深いものでした。また、フィルム開発で培われた、1) 感光層を形成するコラーゲン技術、2) 写真の色あせを防ぐ抗酸化技術、3) 微細な粒子サイズをコントロールするナノ化技術といった要素が、現在の主力製品である化粧品やサプリメントにも随所に盛り込まれており、テクノロジーは領域を超えて活かせることを具体的にご説明頂きました。さらに、開発したサプリメントを参加者へご提供頂き、その効果について身をもって体験できるものでした。

全体を通じて、薬学部が持つ多様性は製薬企業以外の業種でも重要であること、そしてその知識や技術を十分に発揮できる場があることを、在學生は理解できたのではないかと思います。薬の開発とは一味違った研究の面白さ、企業の内幕、CM 秘話等お話は多岐に渡り、講演終了後も植田先生への質問が絶えなかったことは、聴講した学生が受けたインパクトの大きさを物語っていました。

講演後の懇親会には仙台近郊の同級生にもご参加頂き、学生時代の思い出話に花を咲かせ、大変楽しいひと時を過ごしました。ご多忙にも関わらず素晴らしいお話を聴かせて下さいました植田先生に改めて心より感謝致します。（猪股浩平）

